

平成21年8月21日

武庫川流域委員会
委員長 松本 誠様

武庫川流域委員会
委員 伊藤益義

第91回運営委員会提案

都賀川増水事故発生から早や一年が経過しました。また昨年の東京都排水路、先日の沖縄ガーベ川事故が相次いで痛ましい事故が発生しています。

いずれの新聞記事を見ても増水警戒対策ばかりで、都市排水の抑制等抜本的な対策が見えてきません。

武庫川の総合治水対策でもこの点は重要と考えます。

県としての抜本対策はどうなっているのでしょうか。河川部局ではなく下水道部局の担当と思われますが、武庫川の総合治水を考える時、これまでの「雨水をできるだけ早く流す」から「できるだけ流さないようにする」への方針転換が必要と思われます。学校・公園の貯留についてもこの方針が徹底すればより進めやすくなるものと思われます。また各戸貯留や大規模駐車場（初期の総合治水対策検討時には資料、時間が無いと検討が進みませんでした）貯留などの実施にも踏み切るべきと思いますがいかがですか。

都賀川事故については土木学会の調査報告書があるとのことですが抜粋でもけっこうです。配布をお願いします。

以上